

科目名	花 卉 装 飾 学	教員名	住 亮太郎 山根 幹生	開 講 コース	作物生産 花 園 芸	1年次	後 期																														
<p>・目的と内容</p> <p>プロのデザイナーにとって「花卉装飾」とは、単に花を綺麗に装飾するというだけでなく、如何にその花を簡潔に、美しく魅せるか、鑑賞する人々に感動を与えられるかを高度に要求される仕事である。</p> <p>講義では、花卉の大産地であるこの北海道で主に生産されているものについて毎回品目を変えながら具体的、実践的にその装飾方法と生産、流通について学ぶ。</p>																																					
<p>・授業計画 [ 単位数：2 単位、授業週数：15 回 ]</p> <p>[ 後期 ]</p> <table border="0"> <tr> <td>1. イントロダクション</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. トルコキキョウ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. ひまわり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. カーネーション</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. スターチス</td> <td>それぞれの花の</td> </tr> <tr> <td>6. アルストロメリア</td> <td>・生産状況・歴史・相場</td> </tr> <tr> <td>7. ガーベラ</td> <td>・販売方法(アレンジ・花束の紹介)</td> </tr> <tr> <td>8. デルフィニューム</td> <td>生産、生育状況によって順不同となる場合があります。</td> </tr> <tr> <td>9. パラ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10. オリエンタルハイブリットリリー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11. クレマチス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12. グラジオラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13. かすみ草</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14. 菊類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15. まとめ</td> <td></td> </tr> </table>								1. イントロダクション		2. トルコキキョウ		3. ひまわり		4. カーネーション		5. スターチス	それぞれの花の	6. アルストロメリア	・生産状況・歴史・相場	7. ガーベラ	・販売方法(アレンジ・花束の紹介)	8. デルフィニューム	生産、生育状況によって順不同となる場合があります。	9. パラ		10. オリエンタルハイブリットリリー		11. クレマチス		12. グラジオラス		13. かすみ草		14. 菊類		15. まとめ	
1. イントロダクション																																					
2. トルコキキョウ																																					
3. ひまわり																																					
4. カーネーション																																					
5. スターチス	それぞれの花の																																				
6. アルストロメリア	・生産状況・歴史・相場																																				
7. ガーベラ	・販売方法(アレンジ・花束の紹介)																																				
8. デルフィニューム	生産、生育状況によって順不同となる場合があります。																																				
9. パラ																																					
10. オリエンタルハイブリットリリー																																					
11. クレマチス																																					
12. グラジオラス																																					
13. かすみ草																																					
14. 菊類																																					
15. まとめ																																					
<p>・講義の進め方</p> <p>前半にその日のテーマフラワーについての説明、解説、質疑応答とデモンストレーション。 後半に資料を見ながら、花卉業界の総論、現状などを講義する。</p>																																					
<p>・試験と成績評価</p> <p>出席状況・授業態度及び理解度を50%、期末でのレポートで50%とする。</p>																																					
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>現代の花卉業界が抱える諸問題や花卉の生産、流通の仕組みなど難しい内容もありますが、実際に皆さんにお花に触れてもらいながら、楽しく講義をすすめていきたいと思っております。お花の癒しのパワーを感じてください。</p>																																					
<p>・使用教材</p> <p>教科書：なし 参考書：なし</p>																																					